

はじめに

健康で自己の価値観を活かして、自分らしく生きがいがある暮らしを送ることは、福島市民一人ひとりの願いです。

我が国の平均寿命は、生活環境の改善や医学の進歩により急速に延伸し、世界有数の長寿国となりました。

また、高齢化の進展に伴い、食生活・運動習慣等を原因とする生活習慣病の増加や、認知症や寝たきり等の要介護状態となる人々の増加が社会的課題となっております。

このような中、本市におきましては、「健康日本21」及び「健康ふくしま21」を効果的に推進するため、平成13年に本市の実情や特性を活かした「福島市保健計画」を策定し、関係機関・団体の協力のもと市民の皆様の健康づくりに取り組んで参りました。

その後、平成18年度と平成25年度にそれぞれ計画を改訂し健康づくりの環境整備をすすめてきましたが、平成28年度に実施しました「福島市民の健康と生活習慣調査」の結果からみえてきた課題の状況を踏まえ、新たに「ふくしまし健康づくりプラン2018」を策定しました。

本計画は、本市の総合計画のひとつである「いのちを大切にすまち」の推進のため、「やすらぎと潤いのあるまちで生涯にわたって健康で安心して暮らす」ことを基本理念として、健康寿命の延伸をめざし健康づくりに関する方針を示しながら17からなる推進項目を設けました。その中でも健康課題である9項目については、「ももりん元気だナイン」をスローガンに掲げ重点的に推進して参りますので、市民の皆様には本計画の趣旨をご理解いただくとともに、ご協力をお願いいたします。

結びに、本計画の策定にあたりまして、福島市健康づくり推進協議会の委員の皆様をはじめ、ご協力いただきました関係各位、福島市民の生活習慣調査やパブリックコメントなど、様々な機会にご指導・ご協力をいただきました市民の皆様には厚く御礼申し上げます。

平成30年3月 福島市長 木幡 浩